

# 日本より進んでいる？ 中国の子育てとイクメン

—北京在住ジャーナリストが見る中国사회—

2017年 1月24日(火) 13:30~15:30

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム(5階)

講師 斎藤淳子(北京在住ライター)

定員50名 参加無料

平成28年度の男女共同参画白書によると、わが国では就労に関する意識は、「子供ができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答する女性の割合が半数近くを占める一方で、非就労者の女性のうち、求職していない理由を、「出産・育児のため」と回答した女性が32.9%にのぼり、女性の職業への思いと現実の行動との間のギャップは大きくなっています。

隣国の中国の状況はどうでしょうか。講演では、長年、北京で中国社会的調査研究を行ってきたジャーナリストで二児の母である斎藤淳子氏が、自身の経験を踏まえた中国での子育ての状況や女性の社会進出の現状を報告し、またその背景である文化、社会、制度面からの分析をいたします。



保育園送迎のようす(撮影: 斎藤淳子氏)



講師 **斎藤 淳子**(さいとう じゅんこ)

北京在住ライター

米国で修士号取得後北京在住。中国人民大学に国費留学、在北京のジャイカ(JICA)や在北京日本大使館などを経て、中国社会全般に関し調査研究をもとに執筆。読売新聞、共同通信、時事通信、婦人公論、オルタナ、組合ひろば、連合、中国誌・瞭望東方週刊などに寄稿。共著編に『在中国日本人108人のそれでも私たちが中国に住む理由』、『日中対立を超える発信力』など。グローバルプレス会員、二児の母。

## 会場までのアクセス



西小倉駅から  
徒歩約15分、バス約5分  
小倉駅からバス約15分

※会場へのアクセスには、  
公共交通機関をご利用ください。  
バスをご利用の方は、  
西鉄バス停  
「ソレイユホール・ムーブ前」で  
下車してください。  
みなさまのご参加を  
お待ちしております。

## お申込み

参加ご希望の方は、本申込書をファックス(093-583-5195)でお送りいただくか、  
電話(093-280-9926)もしくはEmail(research@kfaw.or.jp)にて、お申し込みください。

(フリガナ) お名前	ご住所・ご所属	お電話番号

## 託児

※託児をご希望の方は1月12日(木)までに電話(093-280-9926)で  
お申し込みください。対象は6カ月から就学前の小児で1人500円が必要です。